

令和元年度 第1回 学校関係者評価委員会 開催記録

開催日時 令和元年5月27日（月）

開催時間 13:30 ～ 15:00

開催場所 長崎県美容専門学校 2F

出席者 古川 秋利 （ 高校等評価委員 長崎県立五島南高等学校元校長 ）
森田 清美 （ 地域住民代表 ）
岩瀬 健一 （ 企業等評価委員 卒業生代表
ヘアサロン crossover play 代表 ）
古川 義博 （ 企業等評価委員 卒業生代表
Deicy & Co 代表 ） 委員長
松本 ゆかり （ 保護者代表 ）

欠席者 岩崎 博圓 （ 地域住民代表 岩崎内科医師 ）

1. 議題

- 1 平成30年度・令和元年度 現況報告
- 2 平成30年度後期学校自己点検・評価報告
- 3 次回日程の確認、検討事項

2. 議事の経過要領

1. 定刻、委員長が開会を宣し、欠席1名、委員の過半数の出席があったので本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。
2. 議題1の概要説明後、委員より意見なし。
3. 議題2の概要説明後、委員より下記の意見を頂いた。
【委員】 社会人としてのあり方について、サロンの方に話しをしていただく機会をつくるのはどうか。

【委員】 インターンシップの振り返りとして、自分自身の振り返りはあるが、実習記録についてクラスで話し合いを行い、異なる意見や考えを知るキッカケを作る。また、家庭でも親からの一言として、アドバイスを

記入するのはどうか。

【委員】 オープンキャンパスのゲストに美容師像や社会が求める人物像を話してもらうのはどうか。

【委員】 インターンシップ前に、SNSを含む注意事項を話す機会を設けるのはどうか。


【委員】 インターンシップに関して、サロンによっては実習中に免許がない生徒に、行き過ぎた技術指導(カットが出来るなど)がある。それにより、受け入れ先のサロン選びにおいて生徒に比較されることがあるので、ルールを守って受け入れるサロンが損をしない、平等なインターンシップであってほしい。


【委員】 インターンシップを受け入れる事で、サロンのイメージダウンにつながる現状があるので、インターンシップを受けないサロンがある。(SNSの拡散)

【委員】 課外活動についてアンケートでの評価が低く、対策として「今後、パートやアルバイトでの教員増員」を考えているが、増やすだけの費用対効果はあるのかどうか。

4. 次回開催日程の確認と懸念事項が検討された。

以上を持って令和元年度第1回学校関係者評価委員会が終了したので、委員長は閉会を宣した。

議長 : 古川 義博 

議事録署名人 : 岩瀬 健一 

議事録署名人 : 松本 ゆかり 

平成30年度 長崎県美容専門学校 学校関係者評価報告書

【評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2 不適切・・・1】

(1)教育理念・目標・人材育成像

評価項目	自己評価
(1)学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	3
(2)学校は、学習指導、生活指導をとおして社会人としての基本を学び、美容業界の発展に貢献できる教育をおこなっている。	3
(3)各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3

【意見】

・社会に出る上での人間の教育や育成には、もう少し力を入れても良いのではないかと思います。

【改善のための方策】

・学校の目的・目標を明確に伝え、教える。また、わかりやすいように掲示する。それでも理解できない場合は、粘り強く伝えていく。

【学校関係者評価】

・学生に対して、当校のHPを見る機会を増やす為、モニターを設置するのはどうか。

・社会人としてのあり方について、サロンの方に話しをしていただく機会をつくるのはどうか。

(2)学校運営

設 問	自己評価
(1)目的に沿った運営方針が策定されているか。	4
(2)運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3
(3)運営組織や意思決定機能は、規則的に明確化されているか、また有効に機能しているか。	3
(4)人事、給与に関する規程等は整備されているか。	3
(5)教務・財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3
(6)業界や地域社会などに対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4
(7)教育活動などに関する情報公開が適切になされているか。	3
(8)情報システム化などによる業務の効率化が図られているか。	4

【意見】

- ・他校に比べて+αの実技が少ないと思う。詳しく知りたい。
- ・実技の授業内での時間配分やメニューをもう少し効率的にしてほしいです。
- ・実技の時間をもう少し増やした方が良いと思います。

【改善のための方策】

- ・1年次において、3つの選択コース(カット・WD・ブライダル)を行い、学生の希望に応えたカリキュラム編成を行う。(年間30時間)
- ・たださせるのではなく、その日の目標設定を明確にし、効率的に行う。また、教員を1名増やす事で、個人指導に時間を費やす事ができる。
- ・ヘアショーなどの行事に対する時間調整を提案し、サロンでの必要な実技時間を増やすため、60時間を次年度捻出する。

【学校関係者評価】

- ・HP上に同窓会の項目を新設し、同窓会活動に力を入れると良いのではないかと。

(3)教育活動

設 問	自己評価
(1)学校は、配布されたシラバス(授業計画)に基づき、計画的な学習指導を行っている。	3
(2)学校は、専門教科とその他の教科を、バランスよく配分し、基礎力の育成に向けた指導がなされている。	3
(3)先生達は、実技の授業で各技術ごとに細かい指導をおこない基礎技術、接客技術の向上を目指している。	3
(4)学校は、資格取得を目標に授業の中で試験対策等をおこなっている。	4
(5)学校は、成績・評価について学則に定めており、また企業関係者からの評価については、学外コンテスト、技術大会等に出場し受賞を目指している。	4
(6)学校は、挨拶や礼儀作法等の指導を徹底し、節度ある規則正しい生活を身につけさせている。	3

【意見】

- ・個人面でのサポートにはまだムラがあるのではないかとと思います。

【改善のための方策】

- ・1人の教員が全員と話すのは無理だが、一部の学生に時間を取られているのが現状。教員を1名追加する事で対策を講じたい。また、夏休みなどの長期休暇や放課後開放の日程を早期に学生に伝達する事で、バイト調整して個人指導に充てる。

【学校関係者評価】

- ・特にありません。

(4)学生指導等

設 問	自己評価
(1) 基本的な生活習慣の確立のため取り組みが行われているか。	3
(2) 学生の完全管理のための取り組み等(災害共済保険、スクールカウンセラー発達障害のある学生等への支援が行われているか。	3
(3) 学生・保護者からの相談体制が整備されているか。	3
(4) 進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか。	4

【意見】

・ワインディング部、作ってほしいです。

【改善のための方策】

・技術の上手なパート、アルバイトなどの教員を雇う。

【学校関係者評価】

・厳しい意見として、「本校の卒業生がすぐ辞める」「学校の先生に対してタメロが多い」「聞く姿勢が弱い」「ケジメがあまりない」など、もっと生徒指導を厳しくしてほしい。

・接客、接遇向上として、外部講師に依頼をするのはどうか。(ホテルで働いている卒業生に力を借りるなど)

・インターンシップの振り返りとして、自分自身の振り返りはあるが、実習記録についてクラスで話し合いを行い、異なる意見や考えを知るキッカケを作る。また、家庭でも親からの一言として、アドバイスを記入するのはどうか。

・インターンシップ前に、SNSを含む注意事項を話す機会を設けるのはどうか。

・インターンシップに関して、サロンによっては実習中に免許がない生徒に、行き過ぎた技術指導(カットが出来るなど)がある。それにより、受け入れ先のサロン選びにおいて生徒に比較されることがあるので、ルールを守って受け入れるサロンが損をしない、平等なインターンシップであってほしい。

・インターンシップを受け入れる事で、サロンのイメージダウンにつながる現状があるので、インターンシップを受けないサロンがある。(SNSの拡散)

・課外活動についてアンケートでの評価が低く、対策として「今後、パートやアルバイトでの教員増員」を考えているが、増やすだけの費用対効果はあるのかどうか。

(5) 特別活動等

設 問	自己評価
(1) クラブ活動等特別活動を推奨、支援しているか。	3

【意見】

- ・ボランティア等多くあり、とても良い
- ・工事の時期はもう少し考えていただきたかったです。

【改善のための方策】

- ・ボランティアについては、今後も継続していきたい。地域、異業種の人から声をかけて頂き、学生の力で長崎を盛り上げていきたい。
- ・クロスの劣化、電気周辺の錆、靴箱、ロッカーの劣化・破損等があり、安全管理の観点から早急に対応した。

【学校関係者評価】

- ・特にありません。

(6) 学修成果

設 問	自己評価
(1) 学校は、企業参加の就職説明会を毎年定期的に行い、学生に対しての就職支援に努めている。また、個別に2者面談を定期的に行っている。	4
(2) 学校は、資格取得率の向上に対してのサポート体制をとっている。	4
(3) 学校は、退学率の低減について担任制による学生指導の実施、定期的な個人面談、教職員全体でのサポート体制をとっている。	4

【意見】

- ・特にありません。

【改善のための方策】

- ・難しい問題にはついては、行政と連携をとり、専門的な解決、支援を行う。

【学校関係者評価】

- ・特にありません。

(7) 学生支援

設 問	自己評価
(1) 学校は、進路、就職に関する支援体制を整備している。	4
(2) 学校は課外活動(放課後練習、ワインディング部等)に対する支援体制を整備している。	3
(3) 学校は、学生相談に関する体制を整備している。	4
(4) 学校は、保護者への連絡を適切に行い、連携体制をとっている。	4
(5) 学校は、健康診断を毎年実施し、学生の健康面での支援を行っている。	4
(6) 学校は、学費納入サポートとして複数設定しており、無理のない学費納入計画を作成し、安心して学校生活を送れるよう支援体制をとっている。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【学校関係者評価】

・特にありません。

(8) 教育環境

設 問	自己評価
(1) 学校は、施設、設備等教育上の必要性に十分対応できるように整備している。	3
(2) 学校は、特別授業として、各種イベント、ヘア・ファッションショー、おくんち見学、外部講師によるセミナー、サロン見学などを定期的実施し、学生の感性や創造性の向上を目指している。	4
(3) 学校は、防災訓練を定期的に行っている。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・不審者対応の訓練も早急を実施する。

【学校関係者評価】

・特にありません。

(9) 学生の受け入れ募集

設 問	自己評価
(1) 学生募集活動は適正に行われているか。	4
(2) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4
(3) 学納金は妥当なものとなっているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・情報収集を充分に行い、本校独自の魅力ある活動を行っていく。

【学校関係者評価】

・オープンキャンパス募集について、参加1回目は「交通費支給」、「友達と一緒に参加する」とポイントが付くなどの取組みをしたらどうか。

・SNS上での在學生と高校生のつながりを作る機会を、オープンキャンパスで実施するのはどうか。

・オープンキャンパスのゲストに美容師像や社会が求める人物像を話してもらうのはどうか。

(10) 財務

設 問	自己評価
(1) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4
(2) 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4
(3) 財務について会計監査が適正に行われているか。	4
(4) 財務情報公開の体制整備はできているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【学校関係者評価】

・特にありません。

(11) 法令などの遵守

設 問	自己評価
(1) 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
(2) 個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか。	4
(3) 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4
(4) 自己評価結果を公開しているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【学校関係者評価】

・特にありません。

(12) 社会貢献・地域貢献

設 問	自己評価
(1) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3
(2) 学生のボランティア活動を推奨、支援しているか。	4
(3) 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練を含む)の受託などを積極的に実施しているか。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・地域との連携を更に深め、よりよい関係性を構築していく。

【学校関係者評価】

・特にありません。

令和元年度 第2回 学校関係者評価委員会 開催記録

開催日時 令和元年 11月 25日 (月)

開催時間 13:30 ~ 15:00

開催場所 長崎県美容専門学校 2F

出席者 古川 秋利 (公益財団法人 岡田甲子男記念奨学財団 理事)
森田 清美 (桜馬場1丁目自治会 会長)
岩瀬 健一 (ヘアサロン crossover play 代表 卒業生)
古川 義博 (Deicy & Co 代表 卒業生) 委員長
松本 ゆかり (21回生保護者)
長崎県美容専門学校教員 3名 (事務局)

欠席者 岩崎 博圓 (介護老人保健施設 ハーモニー聖和 施設長)
(敬称略)

1. 議題

- 1 令和元年度 現況報告
- 2 平成元年度前期学校自己点検・評価報告
- 3 次回日程の確認、検討事項

2. 議事の経過要領

- 1 定刻、委員長が開会を宣し、欠席1名、委員の過半数の出席があったので本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。
- 2 議題1の概要説明後、委員より下記の意見を頂いた。

【古川秋委員】 高等教育修学支援新制度とはどんな制度か。

【事務局】 この新制度について説明します。低所得者世帯の者であっても、社会で自立し、活躍することができる人材を育成する大学等に修学することができるよう、その経済的負担を軽減します。方策として、授業料及び入学金の減免と給付型奨学金を支給します。支援対象となる学生は、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生で、減免額が満額減免、2/3減免、1/3減免に分かれます。

- 【森田委員】 今回初めて開催した、桜馬場自治会敬老会に参加していただきありがとうございます。
- 【事務局】 寮生4名、他2名の学生、教員3名で参加させていただき、来年度は本校での開催を持ちかけました。
- 【森田委員】 その他、地域のイベントにたくさん参加していただいておりますので、自治体の「広報誌」に学園祭等のイベントの告知を掲載したいと思います。

3 議題2の概要説明後、委員より下記の意見を頂いた。

- 【古川秋委員】 今年の特徴として、2年生の評価が高いと感じる。本来であれば、学校に慣れて生意気になる学年であるのにと不思議に思います。逆に、1年生の評価が2年生と比べて低いのは退学者4名と関係しているのではないかと思うので、今後どのように対処していこうと考えているのでしょうか。
- 【事務局】 2年生は1年の時2クラス編成でしたが、退学者が出て、2年では1クラスになりました。今は他のクラスと比較ができず、1年生時の自分が対象となっていると思います。また、1年生時の担任が、2年にそのまま持ち上がり、担任・副担任をすることで安心できているのではないかと思います。1年生は、初担任と昨年2年を担任していた教員で構成しております。
- 【委員長】 現在、1年の退学した学生を通信生として引き受けております。この学生の辞めた理由を尋ねたら、自分がやりたいことと、学校のカリキュラムの違いによるジレンマがあったそうです。この案件から、1年の初期の段階でチームを組ませて何かを達成させることで、生きがい芽生えるのではないかと思います。そうすることで、1年生のアンケート結果も良くなっていくのではないかと思います。
- 【事務局】 1年生からの意見として、4～5月に修学旅行に行きたいと要望がありましたので、大分と熊本への1泊2日の修学旅行を考えております。
- 【松本委員】 学校とは学生同士が時間をかけて触れ合い、心を磨く場所ではないかと思います。高校のように3年間あり、部活があって、先輩の関わりがもてたりすると、学校生活がスムーズにいったりするのでしょうが、専門学校の2年間で学生同士のコミュニケーションがとれる環境づくりもなかなか難しいのが現状ですね。さらに高校では、親を含めた三者面談で、先生方と学校

のことについて話をすることもできますが、これも難しいのでしょうね。

- 【松本委員】 面談が難しいのであれば、一斉メールを活用して、学校の行事、取組み、地域イベントへの参加、TV放送等を知らせれば、学校や子ども達の事にもっと関心を持てると思います。親と子が学校での事について話をするキッカケにもなりますし。
- 【岩瀬委員】 学校としては、学生をしっかりサポート、ナビゲートしてほしい。サロン側としては仕事において短所を指摘するのではなく、長所を伸ばし、楽しく仕事をやってもらうほうが長く続くと思います。無理強いするのではなく、大人の事情でゆっくり一人ひとりに合わせる事が大切だと思います。学生もどのサロンに就職するかで変わると思うので、先生達に長崎のサロンの事を知ってもらい、仲間との集団行動が難しい学生であれば小規模サロンへと、導いてほしいと思います。
- 【森田委員】 アンケートを見る限り、学校としてきめ細かく取り組まれていると思います。
- 【古川義委員】 就職未決定者への就職の斡旋はどうされていますか？
- 【事務局】 促してはいますが、本人が決定することでありまして、相談にのっているのが現状です。求人数について、県外からの求人情報はたくさんあるが、県内の求人はとても少ないです。今後、ディーラー様を介してでも求人票の提出をお願いしたいと考えております。
- 【古川義委員】 うつ等の精神疾患で入学される学生に対する取組みはしていますか？
- 【事務局】 まず保護者との連携を密にしており、別室で個別に対応しています。就職先のサロン様にも連絡を入れ、了解を得ております。別件ですが、学校を辞めたいと言う学生に考え直してもらう事は難しいです。最近、相談なく決めてくる事が多いです。また、学生の教室以外の居場所作りについて考えております。
- 【古川義委員】 外での食事はできますか？地域貢献になると思うのですが。
- 【事務局】 やる価値はあると思います。ルールを決めて、そのルールを破ると外出できなくなる等、考えてはおりますが、過去の事例を考えると地域の方にご迷惑をかけてしまう恐れがあるので躊躇しております。
- 【松本委員】 授業を受けている教室で昼休みを過ごさなければならないのであれば、照明をやわらかい灯りにするとか、観葉植物などを置いて、仕切りをつくるとか、人目を避けることができる場所が

できるといいのではと思います。

【岩瀬委員】 床にじゅうたんを敷くなどして、靴を脱いで座れる場所というのも息抜きができるのではないのでしょうか。

【古川秋委員】 学生だけでなく職員にも息抜きが必要だと思うので、職員室に校長・理事長がいるのは良くないと思います。先生達は生徒指導でストレスを感じているのに、職員室で息抜きができないのは大変疲れると思います。できたら別の場所へ移動してもらったほうが良いです。

4 次回開催日程の確認と懸念事項が検討された。

以上で令和元年度第2回学校関係者評価委員会が終了したので、委員長は閉会を宣した。

※ 次回開催予定日 令和2年5月25日(月) 13:30~15:00

委員長 : 古川 義博 

議事録署名人 : 岩瀬 健一 

議事録署名人 : 松本 ゆかり 

令和元年度 長崎県美容専門学校 学校関係者評価報告書

【評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2 不適切・・・1】

(1)教育理念・目標・人材育成像

評価項目	自己評価
(1)学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	4
(2)学校は、学習指導、生活指導をとおして社会人としての基本を学び、美容業界の発展に貢献できる教育をおこなっている。	4
(3)各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4

【意見】

- ・先生が厳しい言葉をかけてくれる。
- ・目的はあっても、そこに達するように工夫されていると思うことが少ないと感じるから。

【改善のための方策】

- ・年に1回の学生に対する説明や、授業の中でも取り上げ理解を深める。また、年に1度改善を行うこととする。

【学校関係者評価】

- ・特にありません。

(2)学校運営

設 問	自己評価
(1)目的に沿った運営方針が策定されているか。	3
(2)運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3
(3)運営組織や意思決定機能は、規則的に明確化されているか、また有効に機能しているか。	3
(4)人事、給与に関する規程等は整備されているか。	4
(5)教務・財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3
(6)業界や地域社会などに対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4
(7)教育活動などに関する情報公開が適切になされているか。	4
(8)情報システム化などによる業務の効率化が図られているか。	4

【意見】

- ・特になし。

【改善のための方策】

- ・本格的な少子化を迎え、運営については今までにない新しい試みをしていかなければ、適正な運営は出来ないと容易に予想できる為、改善は必ず必要である。

【学校関係者評価】

- ・高等教育修学支援制度の認定校であるので、この制度を利用して、長崎で進学、就職する人が増えるといいと思います。

(3)教育活動

設 問	自己評価
(1)学校は、配布されたシラバス(授業計画)に基づき、計画的な学習指導を行っている。	4
(2)学校は、専門教科とその他の教科を、バランスよく配分し、基礎力の育成に向けた指導がなされている。	3
(3)先生達は、実技の授業で各技術ごとに細かい指導をおこない基礎技術、接客技術の向上を目指している。	4
(4)学校は、資格取得を目標に授業の中で試験対策等をおこなっている。	4
(5)学校は、成績・評価について学則に定めており、また企業関係者からの評価については、学外コンテスト、技術大会等に出場し受賞を目指している。	4
(6)学校は、挨拶や礼儀作法等の指導を徹底し、節度ある規則正しい生活を身につけさせている。	3

【意見】

・テスト範囲を1週間前から言ってほしい。

・「3」をつけたところは、足りていないと思うところで、生徒の意識も低いと感じるところです。

【改善のための方策】

・自主的、主体的な言動が大変重要であり、その為にも学生の声をしっかり聞き取り、まずは教員が学生を承認することから始める。

【学校関係者評価】

・特にありません。

(4)学生指導等

設 問	自己評価
(1)基本的生活習慣の確立のため取り組みが行われているか。	4
(2)学生の完全管理のための取り組み等(災害共済保険、スクールカウンセラー発達障害のある学生等への支援が行われているか。	3
(3)学生・保護者からの相談体制が整備されているか。	4
(4)進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか。	3

【意見】

・特になし。

【改善のための方策】

・医療、行政の専門分野につなげるスピードを上げる事により、問題を早期に解決するように努めていく。

【学校関係者評価】

・学校としては、学生をしっかりサポート、ナビゲートしてほしい。サロン側としては仕事において短所を指摘するのではなく、長所を伸ばし、楽しく仕事をやってもらうほうが長く続くと思います。無理強いではなく、大人の事情でゆっくり一人ひとりに合わせる事が大切だと思います。学生もどのサロンに就職するかで変わると思うので、先生達に長崎のサロンの事を知ってもらい、仲間との集団行動が難しい学生であれば小規模サロンへと、導いてほしいと思います。

(5) 特別活動等

設 問	自己評価
(1) クラブ活動等特別活動を推奨、支援しているか。	2

【意見】

・特になし。

【改善のための方策】

・クラブ活動はない。ただし、各種検定試験、コンテスト前には学校で協力している。

【学校関係者評価】

・特にありません。

(6) 学修成果

設 問	自己評価
(1) 学校は、企業参加の就職説明会を毎年定期的に行い、学生に対しての就職支援に努めている。また、個別に2者面談を定期的に行っている。	3
(2) 学校は、資格取得率の向上に対してのサポート体制をとっている。	3
(3) 学校は、退学率の低減について担任制による学生指導の実施、定期的な個人面談、教職員全体でのサポート体制をとっている。	3

【意見】

・あまり1対1というのではない。

・面談はもう少し多くても良いのではと思いますが、1番は信頼関係をもう少し密にすることだと思います。

【改善のための方策】

・退学に対しては、学校の努力、理解、本人の意思、家族の協力が不可欠であり、難しい問題であることには違いない。しかし、通信への編入なども1つの道として勧めている状況である。

【学校関係者評価】

・退学率低減のため、1年の初期の段階でチームを組ませて何かを達成させることで、生きがいが芽生えるのではないかと思います。そうすることで、1年生のアンケート結果も良くなるのではないかと思います。

(7) 学生支援

設 問	自己評価
(1) 学校は、進路、就職に関する支援体制を整備している。	4
(2) 学校は課外活動(放課後練習、ワインディング部等)に対する支援体制を整備している。	4
(3) 学校は、学生相談に関する体制を整備している。	4
(4) 学校は、保護者への連絡を適切に行い、連携体制をとっている。	4
(5) 学校は、健康診断を毎年実施し、学生の健康面での支援を行っている。	4
(6) 学校は、学費納入サポートとして複数設定しており、無理のない学費納入計画を作成し、安心して学校生活を送れるよう支援体制をとっている。	4

【意見】

・放課後や部活については要検討してほしいところです。保護者への連絡も、一斉メール等を使用しても良いのではと思います

【改善のための方策】

・一人ひとりの要望に応える事は、学校の使命でもあり、全体の満足度を上げると考えられる。今後も、一人ひとりを大事にする学校である為に、教職員の連携を深める。

【学校関係者評価】

・一斉メールを活用して、学校の行事、取組み、地域イベントへの参加、TV放送等を知らせれば、学校や子ども達の事にもっと関心を持てると思います。親と子が学校での事について話をするキッカケにもなると思います。

・授業を受けている教室で昼休みを過ごさなければならないので、照明をやわらかい灯りにするとか、観葉植物などを置いて、仕切りをつくるとか、人目を避けることができる場所ができるといいのではと思います。床にじゅうたんを敷くなどして、靴を脱いで座れる場所というのも息抜きができるのではないのでしょうか。

(8) 教育環境

設 問	自己評価
(1) 学校は、施設、設備等教育上の必要性に十分対応できるように整備している。	3
(2) 学校は、特別授業として、各種イベント、ヘア・ファッションショー、おくんち見学、外部講師によるセミナー、サロン見学などを定期的実施し、学生の感性や創造性の向上を目指している。	3
(3) 学校は、防災訓練を定期的に行っている。	4

【意見】

・学校の中で何かほかに食べるものがあったもいい。

・第2校舎のトイレをきれいにしてほしいとの声が多数あります。検討よろしくお願いします。

【改善のための方策】

・本校舎は令和元年6月までに、床、壁、天井、クロス、廊下の張替え、照明、下駄箱、学生ロッカーを新調している。

・第二校舎トイレを一部改装予定(令和2年度)

【学校関係者評価】

・特にありません。

(9) 学生の受け入れ募集

設 問	自己評価
(1) 学生募集活動は適正に行われているか。	4
(2) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3
(3) 学納金は妥当なものとなっているか。	4

【意見】

・特になし。

【改善のための方策】

・オープンキャンパスの取組みを大きく変更し、より質の高いものにする。学納金については、見直しを行い、各種減免もとり入れる。

【学校関係者評価】

・特にありません。

(10) 財務

設 問	自己評価
(1) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3
(2) 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3
(3) 財務について会計監査が適正に行われているか。	4
(4) 財務情報公開の体制整備はできているか。	4

【意見】

・特になし

【改善のための方策】

・物品購入の際、本当に必要なものかを確認する体制が整っていない為、物品購入のあり方を早急に変更する必要がある。

【学校関係者評価】

・特にありません。

(11) 法令などの遵守

設 問	自己評価
(1) 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
(2) 個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか。	4
(3) 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	3
(4) 自己評価結果を公開しているか。	4

【意見】

・特になし

【改善のための方策】

・個人情報について、学生の情報を抜き取られる場合、無記名で問い合わせがある時に大変問題になる時があり、学生には常々説明と指導を強化していく。

【学校関係者評価】

・特にありません。

(12) 社会貢献・地域貢献

設 問	自己評価
(1) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4
(2) 学生のボランティア活動を推奨、支援しているか。	4
(3) 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練を含む)の受託などを積極的に実施しているか。	4

【意見】

・特になし

【改善のための方策】

・地域の活動については、大変有意義で、お互いにとって交流が深められており、今後も是非参加していきたい。また、学園祭などでのサロンコーナーは大変人気があり、回数を増やして要望に応えていきたい。

【学校関係者評価】

・今回初めて開催した、桜馬場自治会敬老会に参加していただき、またその他の地域のイベントにたくさん参加していただいているので、自治体の「広報誌」に学園祭等のイベントの告知を掲載したいと思います。